

2011年 GWの連休企画

とかしき親子キャンプ

自然の中でこそ見えてくる表情がある

町や家の中ではけっして体験できない物がある。

何もないから贅沢 ゆっくりした時間だから会話ができる。

自然を楽しみ感じる事で沖縄の自然を大好きになろう。

渡嘉敷島ですぐす 2泊3日のテント生活

【日時】 2011年5月3日(火)～5日(木)

【場所】 渡嘉敷村 国立沖縄青少年交流の家 キャンプ場

【対象】 親子 (小学生以上とその保護者)

【定員】 80名 (定員になりしだい締切致します。)

【参加費】 11,000円/1人 (往復フェリー代除く)

【受付場所】 那覇市泊港フェリーチケット売場前

(食事6回・プログラム代・資材代、燃料代込み)

【お問合せ・お申込み】

がじゅまる自然学校 TEL&FAX 0980-58-1852

E-mail : gajumaru@wens.gr.jp

担 当：三浦大樹 (みうらだいき)



主催：がじゅまる自然学校
共催：国立沖縄青少年交流の家



キャンプでは、何が出来るの？

きれいな海で熱帯魚探し 焚き火でごはん作り 夜の浜辺探検・・・
大型カヌーに挑戦だ テントで寝よう 天の川が見えるかも



ただのキャンプとはちょっと違う？
がじゅまる自然学校のキャンプとは！

「本格的な自然体験」

圧倒的な自然を前に、人は感動します。
自然の営みを全身で感じ、自分の中の本能が呼び覚まされ、五感が研ぎ澄まされます。
手付かずの自然を通じて、「人間も自然の一部である」という感覚を育みたいと思っています。

「グループ編成をじみい」

子どもやスタッフがまさに遊牧民の大家族のように係わり、学校や塾だけでは築けない人間関係を育むことで、多様性を認め、社会性を身につけるキャンプを目指しています。

「夢中になる時間を大切にする」

例えば、子どもが何かに熱中している時、ご飯の時間が来てしまった場合、打ち切ることはせず、全体の様子を見ながら臨機応変に対応します。
心ゆくまで何かにのめりこむことが子どもたちの好奇心を育み、主体性の芽を伸ばすことにつながると私たちは考えています。



私達の想い

キャンプは小さな“社会”です。

初めて参加する子どもたちは、普段の生活と180度違う生活に初めは戸惑いつつも、キャンプという小さな社会の中で、次第に生き生きと**自分らしさを発揮**し、成長します。
私たちは子どもがキャンプを通じて逞しく成長する場面を幾度となく目にしてきました。
キャンプが長期になればなるほど、その変化は顕著に現れます。

「自分らしくよりよく生きる」ことに気づかせてくれる場だと考えています。

年齢、対象に応じて様々なキャンプを行っています。

Webでも公開中！

がじゅまる自然学校

検索



がじゅまる自然学校
キャンプ担当 三浦
TEL : 0980-58-1852
Email : gajumaru@wens.gr.jp